

見守り猫「とこにゃん」

とこにゃんは、とこなめ招き猫通りの途中にある橋の塀の上から顔を出している巨大焼き物の招き猫である。

像の名前は、「常滑」と日本語で猫の鳴き声を表現する「にゃん」を組み合わせたものだ。2008 年の誕生以来、常滑市のシンボルとして愛され、記念撮影の人気スポットとなっている。

高さ 3.8 メートル、幅 6.3 メートルと国内最大級の招き猫の 1 つである。頭と片方の前足を上げた部分のみの招き猫だが、目立つ位置でみんなを迎えてくれる。

像の近くの壁を注意深く探してみると、とこにゃんの周囲には 11 体の小さな本物そっくりの猫の置物があることがわかる。

常滑市陶磁器会館と常滑駅を結ぶとこなめ招き猫通りには、常滑にゆかりある作家たちによる 39 体のカラフルでモダンな招き猫が並んでいる。縁結び、無病息災、事業成就など、それぞれの猫のご利益があるという。